

私の未来プロジェクト事業

子どもの生活に関するアンケート 調査結果

平成29年3月

旭川ウェルビーイング・コンソーシアム

旭川大学保健福祉学部 栗田 克実

1. 調査の概要

(1) 調査の目的

私の未来プロジェクト事業を実施するにあたり、同事業の効果を数量化して測定するために、本市の児童・生徒の自己肯定感の一つの指標として考え、事業の進行とともに経年変化をコーホートのとらえることを目的とした。今年度は調査2年次につき前年との比較を行った（全体・性別）。

(2) 方法

各校での体験実施前の「事前アンケート」の一部として無記名自記式で実施した。対象者は、体験を実施した学校の児童・生徒とした。実施年月は平成28年7月～平成29年2月である。

質問内容は、①性別、②文化資本と社会関係資本など、③自己肯定感の3つを大項目とし、①は1問、②は14問、③は8問（4件法）から構成した。

(3) 実施結果

回収結果については、回答者の性別／学年の内訳を含めて表1に示した。

小学生は1,027名（昨年度：1,012名）、中学生は1,279名（昨年度：853名）、そして高校生696名（昨年度：276名）の合計3,002名より回答を得た。

表1 回答者の属性

		合計	Q1 性別			回答者計
			男	女	無回答	
全体		2983 100.0%	1616 54.2%	1367 45.8%	19	3002
学年	小学3年	148 100.0%	78 52.7%	70 47.3%	2	150
	小学4年	193 100.0%	100 51.8%	93 48.2%	2	195
	小学5年	680 100.0%	333 49.0%	347 51.0%	2	682
	中学1年	258 100.0%	126 48.8%	132 51.2%	4	262
	中学2年	192 100.0%	97 50.5%	95 49.5%	0	192
	中学3年	819 100.0%	424 51.8%	395 48.2%	6	825
	高校1年	550 100.0%	390 70.9%	160 29.1%	2	552
	高校2年	143 100.0%	68 47.6%	75 52.4%	1	144
学校種別	(参考) 小学生	1021 100.0	511 50.0	510 50.0	6	1027
	(参考) 中学生	1269 100.0	647 51.0	622 49.0	10	1279
	(参考) 高校生	693 100.0	458 66.1	235 33.9	3	696

2. 調査結果

(1) 文化資本と社会関係資本

1) 本のある環境

「家には本がたくさんある」との問いに対して、全体では 59.4%が「はい（ある）」と答え、その割合が前年より 1.0%増加した。

性別で見ると、女性で 65.0%が「はい」と答えているのに対して（前年比+2.9%）、男性では 54.5%（前年比-0.1%）にとどまっている。

学年別にみると、小学4年で「はい」が 72.7%であるのに対して、高校2年になると 38.7%まで割合が低下している。

表2 本のある環境

		合計	q2-01家には本がたくさんある（マンガや雑誌は除く）			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2981 100.0%	1771 59.4%	947 31.8%	263 8.8%	21
性別	男性	1613 100.0%	880 54.6%	591 36.6%	142 8.8%	3
	女性	1361 100.0%	885 65.0%	355 26.1%	121 8.9%	6
学年	小学3年	149 100.0%	96 64.4%	38 25.5%	15 10.1%	1
	小学4年	194 100.0%	141 72.7%	39 20.1%	14 7.2%	1
	小学5年	680 100.0%	411 60.4%	210 30.9%	59 8.7%	2
	中学1年	256 100.0%	155 60.5%	72 28.1%	29 11.3%	6
	中学2年	189 100.0%	117 61.9%	57 30.2%	15 7.9%	3
	中学3年	819 100.0%	459 56.0%	275 33.6%	85 10.4%	6
	高校1年	552 100.0%	337 61.1%	182 33.0%	33 6.0%	0
	高校2年	142 100.0%	55 38.7%	74 52.1%	13 9.2%	2
学校種別	(参考) 小学生	1023 100.0%	648 63.3%	287 28.1%	88 8.6%	4
	(参考) 中学生	1264 100.0%	731 57.8%	404 32.0%	129 10.2%	15
	(参考) 高校生	694 100.0%	392 56.5%	256 36.9%	46 6.6%	2

2) 個室の勉強部屋の有無

「自分一人の勉強部屋を持っている」との問いに対して、全体では72.9%が「はい(ある)」と答え(前年比-0.5%)、25.0%が「いいえ」と答えた。

性別でみると、女性で73.9%(前年比-0.4%)が「はい」と答えており、男性の71.9%(前年比+1.8%)を上回った。

学年別にみると、学年(年齢)の上昇とともに「はい」の割合が高くなっている。小学3年の52.0%が最も低く、高校1年の83.8%が最も高い。

表3 勉強部屋(個人)の有無

		合計	q2-02自分一人の勉強部屋を持っている			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2986 100.0%	2178 72.9%	747 25.0%	61 2.0%	16
性別	男性	1614 100.0%	1161 71.9%	424 26.3%	29 1.8%	2
	女性	1365 100.0%	1009 73.9%	324 23.7%	32 2.3%	2
学年	小学3年	150 100.0%	78 52.0%	63 42.0%	9 6.0%	0
	小学4年	195 100.0%	108 55.4%	83 42.6%	4 2.1%	0
	小学5年	679 100.0%	416 61.3%	242 35.6%	21 3.1%	3
	中学1年	259 100.0%	180 69.5%	72 27.8%	7 2.7%	3
	中学2年	191 100.0%	134 70.2%	52 27.2%	5 2.6%	1
	中学3年	819 100.0%	685 83.6%	126 15.4%	8 1.0%	6
	高校1年	551 100.0%	462 83.8%	84 15.2%	5 .9%	1
	高校2年	142 100.0%	115 81.0%	25 17.6%	2 1.4%	2
学校種別	(参考)小学生	1024 100.0%	602 58.8%	388 37.9%	34 3.3%	3
	(参考)中学生	1269 100.0%	999 78.7%	250 19.7%	20 1.6%	10
	(参考)高校生	693 100.0%	577 83.3%	109 15.7%	7 1.0%	3

3) 家の人による勉強の促し

「家の人には私にほとんど毎日「勉強しなさい」と言う」との問いに対して、全体では29.0%（前年比-1.2%）が「はい（言う）」と答えた。

性別でみると、男性の30.8%（前年比-2.5%）が「はい」と答えており、女性の26.7%（前年比+0.1%）を上回った。

学年別にみると、前問と異なり、学年（年齢）の上昇とともに「いいえ」の割合がおおむね高くなっている。「はい」と答えた割合は、高校2年の8.5%が最も低く、小学4年の44.6%が最も高い。

表4 家の人による「勉強しなさい」との促し

		合計	q2-03家の人には私に、ほとんど毎日「勉強しなさい」と言う			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2987 100.0%	866 29.0%	1930 64.6%	191 6.4%	15
性別	男性	1615 100.0%	498 30.8%	1017 63.0%	100 6.2%	1
	女性	1365 100.0%	365 26.7%	909 66.6%	91 6.7%	2
学年	小学3年	148 100.0%	61 41.2%	74 50.0%	13 8.8%	2
	小学4年	195 100.0%	87 44.6%	98 50.3%	10 5.1%	0
	小学5年	682 100.0%	237 34.8%	391 57.3%	54 7.9%	0
	中学1年	259 100.0%	99 38.2%	143 55.2%	17 6.6%	3
	中学2年	191 100.0%	50 26.2%	127 66.5%	14 7.3%	1
	中学3年	818 100.0%	252 30.8%	508 62.1%	58 7.1%	7
	高校1年	552 100.0%	68 12.3%	470 85.1%	14 2.5%	0
	高校2年	142 100.0%	12 8.5%	119 83.8%	11 7.7%	2
学校種別	(参考) 小学生	1025 100.0%	385 37.6%	563 54.9%	77 7.5%	2
	(参考) 中学生	1268 100.0%	401 31.6%	778 61.4%	89 7.0%	11
	(参考) 高校生	694 100.0%	80 11.5%	589 84.9%	25 3.6%	2

4) 家の人に勉強をみてもらう

「家の人に勉強を見てもらったことがある」との問いに対して、全体では75.8%（前年比-2.3%）が「はい（ある）」と答えた。

性別でみると、女性で81.4%（前年比-1.7%）が「はい」と答えており、男性の71.2%（前年比-2.4%）を上回った。

学年別にみると、学年進行とともに「はい」の割合が低くなっている。高校2年の45.4%が最も低く、小学4年の95.4%が最も高い。小学生全体で88.2%（前年比+2.2%）、中学生全体で72.7%（前年比+1.7%）が家の人に勉強をみてもらった経験がある。

表5 家の人に勉強をみてもらった経験

		合計	q2-04家の人に勉強を見てもらったことがある			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2985 100.0%	2263 75.8%	608 20.4%	114 3.8%	17
性別	男性	1613 100.0%	1148 71.2%	406 25.2%	59 3.7%	3
	女性	1365 100.0%	1111 81.4%	200 14.7%	54 4.0%	2
学年	小学3年	149 100.0%	127 85.2%	18 12.1%	4 2.7%	1
	小学4年	195 100.0%	186 95.4%	8 4.1%	1 .5%	0
	小学5年	680 100.0%	590 86.8%	71 10.4%	19 2.8%	2
	中学1年	258 100.0%	198 76.7%	46 17.8%	14 5.4%	4
	中学2年	191 100.0%	149 78.0%	38 19.9%	4 2.1%	1
	中学3年	819 100.0%	575 70.2%	203 24.8%	41 5.0%	6
	高校1年	552 100.0%	374 67.8%	161 29.2%	17 3.1%	0
	高校2年	141 100.0%	64 45.4%	63 44.7%	14 9.9%	3
学校種別	(参考) 小学生	1024 100.0%	903 88.2%	97 9.5%	24 2.3%	3
	(参考) 中学生	1268 100.0%	922 72.7%	287 22.6%	59 4.7%	11
	(参考) 高校生	693 100.0%	438 63.2%	224 32.3%	31 4.5%	3

5) 家の人に本を読んでもらった経験

「小さいころ、家の人によく本を読んでもらった」との問いに対して、全体では61.9%（前年比+7.2%）が「はい（ある）」と答えた。

性別でみると、女性で58.9%（前年比+8.2%）が「はい」と答えており、男性の51.0%（前年比+6.6%）を上回った。

この設問は、「小さいころ」と幼少期の記憶をたずねる回顧的設問であり、前年と同様に「わからない」との回答が多かった。

学年別にみると、小学4年の71.8%が最も高く、高校2年の50.4%が最も低い。

表6 小さいころ家の人に本を読んでもらった経験

		合計	q2-05小さいころ、家の人によく本を読んでもらった			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2986 100.0%	1848 61.9%	527 17.6%	611 20.5%	16
性別	男性	1613 100.0%	929 57.6%	323 20.0%	361 22.4%	3
	女性	1366 100.0%	917 67.1%	204 14.9%	245 17.9%	1
学年	小学3年	149 100.0%	84 56.4%	35 23.5%	30 20.1%	1
	小学4年	195 100.0%	140 71.8%	25 12.8%	30 15.4%	0
	小学5年	682 100.0%	415 60.9%	107 15.7%	160 23.5%	0
	中学1年	258 100.0%	173 67.1%	33 12.8%	52 20.2%	4
	中学2年	191 100.0%	110 57.6%	39 20.4%	42 22.0%	1
	中学3年	818 100.0%	498 60.9%	134 16.4%	186 22.7%	7
	高校1年	552 100.0%	357 64.7%	107 19.4%	88 15.9%	0
	高校2年	141 100.0%	71 50.4%	47 33.3%	23 16.3%	3
学校種別	(参考) 小学生	1026 100.0%	639 62.3%	167 16.3%	220 21.4%	1
	(参考) 中学生	1267 100.0%	781 61.6%	206 16.3%	280 22.1%	12
	(参考) 高校生	693 100.0%	428 61.8%	154 22.2%	111 16.0%	3

6) 規則的な起床(時刻)

「家の人は、毎日、ほとんど決まった時間に起きる」との問いに対して、全体では76.4%(前年比+1.8%)が「はい(決まった時間に起きる)」と答えた。

性別でみると、女性の77.9%(前年比+4.7%)が「はい」と答えており、男性の75.2%(前年比-0.6%)を上回った。

学年別にみると、高校1年の86.8%が最も高く、小学3年の67.3%が最も低く、低学年ほど「はい」と答える割合が相対的に低下した。

表7 家の人は毎日ほとんど決まった時間に起きる

		合計	q2-06家の人は、毎日、ほとんど決まった時間に起きる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2986 100.0%	2282 76.4%	429 14.4%	275 9.2%	16
性別	男性	1613 100.0%	1213 75.2%	253 15.7%	147 9.1%	3
	女性	1366 100.0%	1064 77.9%	177 13.0%	125 9.2%	1
学年	小学3年	150 100.0%	101 67.3%	35 23.3%	14 9.3%	0
	小学4年	195 100.0%	149 76.4%	29 14.9%	17 8.7%	0
	小学5年	681 100.0%	489 71.8%	111 16.3%	81 11.9%	1
	中学1年	258 100.0%	180 69.8%	46 17.8%	32 12.4%	4
	中学2年	191 100.0%	147 77.0%	23 12.0%	21 11.0%	1
	中学3年	817 100.0%	623 76.3%	113 13.8%	81 9.9%	8
	高校1年	552 100.0%	479 86.8%	54 9.8%	19 3.4%	0
	高校2年	142 100.0%	114 80.3%	18 12.7%	10 7.0%	2
学校種別	(参考)小学生	1026 100.0%	739 72.0%	175 17.1%	112 10.9%	1
	(参考)中学生	1266 100.0%	950 75.0%	182 14.4%	134 10.6%	13
	(参考)高校生	694 100.0%	593 85.4%	72 10.4%	29 4.2%	2

7) 食事を大切にしているか

「自分の家では食事を大切にしているか」との問いに対して、全体では72.1%（前年比-1.4%）が「はい（食事を大切にしている）」と答えた。

性別でみると、男性の73.3%（前年比-1.1%）が「はい」と答えており、女性の70.7%（前年比-1.2%）を上回った。

学年別にみると、高校1年の75.7%が最も高く、大きな差は見られないものの、小学3年の67.1%が最も低い。なお、「いいえ」の割合が小学3・4年、高校2年で10%台であり他の学年より高かった。

表8 自分の家では食事を大切にしている

		合計	q2-07自分の家では食事を大切に考えている			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2987 100.0%	2153 72.1%	235 7.9%	599 20.1%	15
性別	男性	1615 100.0%	1183 73.3%	140 8.7%	292 18.1%	1
	女性	1365 100.0%	965 70.7%	95 7.0%	305 22.3%	2
学年	小学3年	149 100.0%	100 67.1%	23 15.4%	26 17.4%	1
	小学4年	194 100.0%	143 73.7%	25 12.9%	26 13.4%	1
	小学5年	681 100.0%	503 73.9%	45 6.6%	133 19.5%	1
	中学1年	259 100.0%	180 69.5%	20 7.7%	59 22.8%	3
	中学2年	191 100.0%	133 69.6%	7 3.7%	51 26.7%	1
	中学3年	819 100.0%	573 70.0%	61 7.4%	185 22.6%	6
	高校1年	552 100.0%	418 75.7%	37 6.7%	97 17.6%	0
	高校2年	142 100.0%	103 72.5%	17 12.0%	22 15.5%	2
学校種別	(参考) 小学生	1024 100.0%	746 72.9%	93 9.1%	185 18.1%	3
	(参考) 中学生	1269 100.0%	886 69.8%	88 6.9%	295 23.2%	10
	(参考) 高校生	694 100.0%	521 75.1%	54 7.8%	119 17.1%	2

8) 近所付き合い

「自分を含め、家の方は近所付き合いを大切にしている」との問いに対して、全体では55.0%（前年比-3.2%）が「はい（大切にしている）」と答えた。この設問では「わからない」が31.7%で、前問と同じく高い割合を示した。

性別でみると、女性の60.0%が「はい」と答えており、男性の56.7%を上回った。

近所付き合いに対して関心を抱いていない回答者が「わからない」と回答している可能性がある。

しかしながら、学年別にみると、小学4年の66.2%が最も高く、「わからない」が20.5%にとどまっていた。最も低かったのは、高校2年の43.0%であった。

小学生全体で58.3%（前年比-5.2%）、中学生全体では50.9%（前年比+3.6%）、高校生では50.9%（前年比+0.5%）が、「はい」と答えている。

表9 近所付き合いを大切にしている

		合計	q2-08自分を含め、家の方は近所づきあいを大切にしている			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2983 100.0%	1642 55.0%	394 13.2%	947 31.7%	19
性別	男性	1613 100.0%	876 54.3%	233 14.4%	504 31.2%	3
	女性	1364 100.0%	765 56.1%	159 11.7%	440 32.3%	3
学年	小学3年	150 100.0%	81 54.0%	24 16.0%	45 30.0%	0
	小学4年	195 100.0%	129 66.2%	26 13.3%	40 20.5%	0
	小学5年	681 100.0%	388 57.0%	67 9.8%	226 33.2%	1
	中学1年	255 100.0%	145 56.9%	27 10.6%	83 32.5%	7
	中学2年	190 100.0%	95 50.0%	22 11.6%	73 38.4%	2
	中学3年	818 100.0%	451 55.1%	111 13.6%	256 31.3%	7
	高校1年	552 100.0%	292 52.9%	84 15.2%	176 31.9%	0
	高校2年	142 100.0%	61 43.0%	33 23.2%	48 33.8%	2
学校種別	(参考) 小学生	1026 100.0%	598 58.3%	117 11.4%	311 30.3%	1
	(参考) 中学生	1263 100.0%	691 54.7%	160 12.7%	412 32.6%	16
	(参考) 高校生	694 100.0%	353 50.9%	117 16.9%	224 32.3%	2

9) 地域住民との行事参加

「地域の人と一緒に行事に取り組んだことがある」との問いに対して、全体では61.7%（前年比-3.0%）が「はい（ある）」と答えた。

性別でみると、女性の62.4%（前年比-3.2%）が「はい」と答えており、男性の61.3%（前年比-2.7%）を上回った。

学年別にみると、前年と同じく小学4年の74.9%が最も高く、小学3年の40.9%が最も低い。そして、高校2年では「いいえ」の割合が40.1%であり、他の学年よりも高いことが特徴としてあげられる。

表 10 地域住民との行事参加

		合計	q2-09地域の人と一緒に行事に取り組んだことがある			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2987 100.0%	1842 61.7%	712 23.8%	433 14.5%	15
性別	男性	1615 100.0%	990 61.3%	393 24.3%	232 14.4%	1
	女性	1366 100.0%	852 62.4%	316 23.1%	198 14.5%	1
学年	小学3年	149 100.0%	61 40.9%	48 32.2%	40 26.8%	1
	小学4年	195 100.0%	146 74.9%	28 14.4%	21 10.8%	0
	小学5年	681 100.0%	438 64.3%	146 21.4%	97 14.2%	1
	中学1年	258 100.0%	139 53.9%	68 26.4%	51 19.8%	4
	中学2年	191 100.0%	89 46.6%	67 35.1%	35 18.3%	1
	中学3年	819 100.0%	514 62.8%	188 23.0%	117 14.3%	6
	高校1年	552 100.0%	386 69.9%	110 19.9%	56 10.1%	0
	高校2年	142 100.0%	69 48.6%	57 40.1%	16 11.3%	2
学校種別	(参考) 小学生	1025 100.0%	645 62.9%	222 21.7%	158 15.4%	2
	(参考) 中学生	1268 100.0%	742 58.5%	323 25.5%	203 16.0%	11
	(参考) 高校生	694 100.0%	455 65.6%	167 24.1%	72 10.4%	2

10) 新聞を読んでいる

「新聞を読んでいる」との問いに対して、全体では 25.6%（前年比－2.6%）が「はい（ある）」と答えた。

性別でみると、男性の 26.0%（前年比－4.7%）が「はい」と答えており、女性の 25.1%（前年比－0.2%）を上回った。

学年別にみると、前年調査とは異なり半数を超えた学年はなく、小学 4 年が 32.5%で最も高く、高校 2 年が 18.3%で最も低い。

小学生全体で 30.8%（前年比－1.2%）、中学生全体では 24.2%（前年比－2.1%）、高校生では 20.5%（前年比＋0.6%）が「新聞を読んでいる」と答えた。新聞を読んでいる割合は全体的に低いといえる。

表 11 新聞を読んでいる

		合計	q2-10新聞を読んでいる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2985 100.0%	764 25.6%	2103 70.5%	118 4.0%	17
性別	男性	1614 100.0%	420 26.0%	1126 69.8%	68 4.2%	2
	女性	1365 100.0%	343 25.1%	973 71.3%	49 3.6%	2
学年	小学3年	150 100.0%	41 27.3%	102 68.0%	7 4.7%	0
	小学4年	194 100.0%	63 32.5%	124 63.9%	7 3.6%	1
	小学5年	681 100.0%	212 31.1%	445 65.3%	24 3.5%	1
	中学1年	257 100.0%	66 25.7%	184 71.6%	7 2.7%	5
	中学2年	191 100.0%	48 25.1%	134 70.2%	9 4.7%	1
	中学3年	818 100.0%	192 23.5%	585 71.5%	41 5.0%	7
	高校1年	552 100.0%	116 21.0%	418 75.7%	18 3.3%	0
	高校2年	142 100.0%	26 18.3%	111 78.2%	5 3.5%	2
学校種別	(参考) 小学生	1025 100.0%	316 30.8%	671 65.5%	38 3.7%	2
	(参考) 中学生	1266 100.0%	306 24.2%	903 71.3%	57 4.5%	13
	(参考) 高校生	694 100.0%	142 20.5%	529 76.2%	23 3.3%	2

11) 悩みを話せる人がいる

「悩みを話せる人がいる」との問いに対して、全体では76.8%（前年比+0.6%）が「はい（ある）」と答えた。

性別でみると、女性の81.6%（前年比+1.2%）が「はい」と答えており、男性の72.9%（前年比+0.2%）を上回った。

学年間で大きな差は見られないが、高校2年で81.7%と最も高く、中学2年の71.2%が最も低い。

小学生全体で77.2%（前年比+2.0%）、中学生全体では74.2%（前年比-3.6%）、高校生全体では81.0%（前年比+6.0%）が「悩みを話せる人がいる」と答えた。

表12 悩みを話せる人がいる

		合計	q2-11悩みを話せる人がいる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2987 100.0%	2294 76.8%	349 11.7%	344 11.5%	15
性別	男性	1615 100.0%	1177 72.9%	242 15.0%	196 12.1%	1
	女性	1366 100.0%	1115 81.6%	106 7.8%	145 10.6%	1
学年	小学3年	150 100.0%	111 74.0%	23 15.3%	16 10.7%	0
	小学4年	194 100.0%	152 78.4%	27 13.9%	15 7.7%	1
	小学5年	681 100.0%	528 77.5%	84 12.3%	69 10.1%	1
	中学1年	258 100.0%	205 79.5%	32 12.4%	21 8.1%	4
	中学2年	191 100.0%	136 71.2%	30 15.7%	25 13.1%	1
	中学3年	819 100.0%	600 73.3%	95 11.6%	124 15.1%	6
	高校1年	552 100.0%	446 80.8%	50 9.1%	56 10.1%	0
	高校2年	142 100.0%	116 81.7%	8 5.6%	18 12.7%	2
学校種別	(参考) 小学生	1025 100.0%	791 77.2%	134 13.1%	100 9.8%	2
	(参考) 中学生	1268 100.0%	941 74.2%	157 12.4%	170 13.4%	11
	(参考) 高校生	694 100.0%	562 81.0%	58 8.4%	74 10.7%	2

12) 定住意識

「このまちにずっと住みたい」との問いに対して、全体では50.3%（前年比－7.9%）が「はい（住みたい）」と答えた。

性別でみると、男性の52.0%（前年比－6.5%）が「はい」と答えており、女性の48.4%（前年比－9.3%）を上回った。

学年別にみると、学年進行とともに「はい」の割合が低下している。小学4年では79.5%が「はい」と答えたが、中学2年では44.4%と半数を下回り、高校2年では31.7%にとどまった。

小学生全体で69.6%、中学生全体では43.6%、高校生全体では34.1%が「このまちにずっと住みたい」と答えた。

表 13 定住意識

		合計	q2-12このまちにずっと住みたい			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2984 100.0%	1501 50.3%	650 21.8%	833 27.9%	18
性別	男性	1613 100.0%	838 52.0%	338 21.0%	437 27.1%	3
	女性	1365 100.0%	660 48.4%	310 22.7%	395 28.9%	2
学年	小学3年	150 100.0%	117 78.0%	16 10.7%	17 11.3%	0
	小学4年	195 100.0%	155 79.5%	26 13.3%	14 7.2%	0
	小学5年	681 100.0%	442 64.9%	95 14.0%	144 21.1%	1
	中学1年	258 100.0%	133 51.6%	46 17.8%	79 30.6%	4
	中学2年	189 100.0%	84 44.4%	45 23.8%	60 31.7%	3
	中学3年	818 100.0%	334 40.8%	201 24.6%	283 34.6%	7
	高校1年	551 100.0%	191 34.7%	175 31.8%	185 33.6%	1
	高校2年	142 100.0%	45 31.7%	46 32.4%	51 35.9%	2
学校種別	(参考) 小学生	1026 100.0%	714 69.6%	137 13.4%	175 17.1%	1
	(参考) 中学生	1265 100.0%	551 43.6%	292 23.1%	422 33.4%	14
	(参考) 高校生	693 100.0%	236 34.1%	221 31.9%	236 34.1%	3

13) 目標とする人の存在

「あなたには「あのような人になりたい」と思う人がいる」との問いに対して、全体では66.9%（前年比-0.8%）が「はい（いる）」と答えた。

性別でみると、女性の71.3%（前年比+1.9%）が「はい」と答えており、男性の60.2%（前年比-2.7%）を上回った。

学年別にみると、前年同様に小学4年で78.5%と最も高く、小学2年の52.7%が最も低い。

小学生全体では69.7%であるが、中学生全体では64.5%、高校生全体では64.0%が「はい」と答えており、学校種別で大きな差は見られなかった。

表14 あのような人になりたい

		合計	q2-13あなたには「あのような人になりたい」と思う人がいる			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2983 100.0%	1973 66.1%	644 21.6%	366 12.3%	19
性別	男性	1611 100.0%	970 60.2%	440 27.3%	201 12.5%	5
	女性	1366 100.0%	1000 73.2%	202 14.8%	164 12.0%	1
学年	小学3年	150 100.0%	79 52.7%	57 38.0%	14 9.3%	0
	小学4年	195 100.0%	153 78.5%	33 16.9%	9 4.6%	0
	小学5年	681 100.0%	483 70.9%	135 19.8%	63 9.3%	1
	中学1年	258 100.0%	190 73.6%	45 17.4%	23 8.9%	4
	中学2年	190 100.0%	124 65.3%	42 22.1%	24 12.6%	2
	中学3年	818 100.0%	502 61.4%	181 22.1%	135 16.5%	7
	高校1年	549 100.0%	355 64.7%	124 22.6%	70 12.8%	3
	高校2年	142 100.0%	87 61.3%	27 19.0%	28 19.7%	2
学校種別	(参考) 小学生	1026 100.0%	715 69.7%	225 21.9%	86 8.4%	1
	(参考) 中学生	1266 100.0%	816 64.5%	268 21.2%	182 14.4%	13
	(参考) 高校生	691 100.0%	442 64.0%	151 21.9%	98 14.2%	5

14) 将来についての会話

最後に、「家の人と将来のことについて話すことがある」とたずねた。全体では72.0%（前年比-1.9%）が「はい（ある）」と答えた。

性別でみると、女性の76.6%（前年比-1.3%）が「はい」と答えており、男性の71.6%（前年比-2.1%）を上回った。

学年別にみると、高校1年で83.2%と最も高く、小学3年の55.3%が最も低い。

小学生全体では65.1%であるが、中学生全体では71.7%と割合が高くなり、高校生全体では82.9%が「はい」と答えており、前年調査と同様に、年齢の上昇とともに、家族と将来のことを話す割合も高くなっている。

表 15 将来について家族との会話

		合計	q2-14家の人と将来のことについて話すことがある			
			はい	いいえ	わからない	無回答
全体		2988 100.0%	2152 72.0%	611 20.4%	225 7.5%	14
性別	男性	1615 100.0%	1122 69.5%	382 23.7%	111 6.9%	1
	女性	1367 100.0%	1029 75.3%	226 16.5%	112 8.2%	0
学年	小学3年	150 100.0%	83 55.3%	49 32.7%	18 12.0%	0
	小学4年	195 100.0%	137 70.3%	50 25.6%	8 4.1%	0
	小学5年	682 100.0%	449 65.8%	180 26.4%	53 7.8%	0
	中学1年	258 100.0%	163 63.2%	76 29.5%	19 7.4%	4
	中学2年	190 100.0%	124 65.3%	55 28.9%	11 5.8%	2
	中学3年	819 100.0%	621 75.8%	117 14.3%	81 9.9%	6
	高校1年	552 100.0%	459 83.2%	70 12.7%	23 4.2%	0
	高校2年	142 100.0%	116 81.7%	14 9.9%	12 8.5%	2
学校種別	(参考) 小学生	1027 100.0%	669 65.1%	279 27.2%	79 7.7%	0
	(参考) 中学生	1267 100.0%	908 71.7%	248 19.6%	111 8.8%	12
	(参考) 高校生	694 100.0%	575 82.9%	84 12.1%	35 5.0%	2

(2) 自己肯定感

1) やると決めたことは最後までやり通す

まず、「やると決めたことは最後までやり通す」かたずねたところ、全体では 58.0% (前年比+2.4%) が「ややあてはまる」と答え、最も高い割合を示した。

「あてはまる (とても+やや)」の割合を性別で見ると、男性は 85.2% (前年比+0.2%) であり、女性の 84.3% (前年比-0.6%) をわずかに上回った。このことについて学年別で見ると、小学 4 年で 88.2% と最も高く、小学 3 年の 79.8% が最も低い。

また、「とてもあてはまる」を 4 点、「ややあてはまる」を 3 点、「あまりあてはまらない」を 2 点、「まったくあてはまらない」を 1 点としてスコア化したところ、小学 4 年が 3.23 で最も高く、高校 2 年で 2.99 と最も低い。なお、この設問の論理的中間値は 2.5 である (以下同じ)。

表 16 やると決めたことは最後までやり通す

		合計	q3-01 やると決めたことは最後までやり通す					(平均 スコア)
			とてもあて はまる	ややあては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	無回答	
全体		2983 100.0%	797 26.7%	1730 58.0%	400 13.4%	56 1.9%	19	3.10
性別	男性	1613 100.0%	452 28.0%	922 57.2%	208 12.9%	31 1.9%	3	3.11
	女性	1364 100.0%	342 25.1%	807 59.2%	191 14.0%	24 1.8%	3	3.08
学年	小学3年	148 100.0%	51 34.5%	67 45.3%	20 13.5%	10 6.8%	2	3.07
	小学4年	195 100.0%	71 36.4%	101 51.8%	20 10.3%	3 1.5%	0	3.23
	小学5年	681 100.0%	203 29.8%	394 57.9%	75 11.0%	9 1.3%	1	3.16
	中学1年	258 100.0%	58 22.5%	154 59.7%	43 16.7%	3 1.2%	4	3.03
	中学2年	191 100.0%	41 21.5%	117 61.3%	27 14.1%	6 3.1%	1	3.01
	中学3年	816 100.0%	218 26.7%	464 56.9%	123 15.1%	11 1.3%	9	3.09
	高校1年	552 100.0%	130 23.6%	338 61.2%	74 13.4%	10 1.8%	0	3.07
	高校2年	142 100.0%	25 17.6%	95 66.9%	18 12.7%	4 2.8%	2	2.99
学校種別	(参考) 小学生	1024 100.0%	325 31.7%	562 54.9%	115 11.2%	22 2.1%	3	3.16
	(参考) 中学生	1265 100.0%	317 25.1%	735 58.1%	193 15.3%	20 1.6%	14	3.07
	(参考) 高校生	694 100.0%	155 22.3%	433 62.4%	92 13.3%	14 2.0%	2	3.05

2) 私のことをわかってくれている人がいる

「私のことをわかってくれている人がいる」との問いでは、全体では 49.8%（前年比+0.2%）が「とてもあてはまる」と答え、35.4%（前年比+1.5%）が「ややあてはまる」と答えた。

「あてはまる（とても+やや）」に着目し、その割合を性別でみたところ、女性では 88.7%（前年比+1.8%）であり、男性の 82.2%（前年比+1.7%）を上回った。

学年別では、高校2年で 89.4%と最も高く（昨年は小学4年：90.8%）、中学2年の 80.1%が最も低い。

スコア化したところ、小学5年が 3.57（昨年は小学4年：3.45）で最も高く、中学2年で 3.18と最も低い。

表 17 私のことをわかってくれている人がいる

		合計	q3-02私のことをわかってくれている人がいる				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2983 100.0%	1485 49.8%	1056 35.4%	341 11.4%	101 3.4%	19	3.32
性別	男性	1613 100.0%	705 43.7%	621 38.5%	211 13.1%	76 4.7%	3	3.21
	女性	1364 100.0%	779 57.1%	431 31.6%	129 9.5%	25 1.8%	3	3.44
学年	小学3年	147 100.0%	85 57.8%	43 29.3%	13 8.8%	6 4.1%	3	3.41
	小学4年	195 100.0%	125 64.1%	43 22.1%	16 8.2%	11 5.6%	0	3.45
	小学5年	682 100.0%	416 61.0%	189 27.7%	57 8.4%	20 2.9%	0	3.47
	中学1年	258 100.0%	129 50.0%	88 34.1%	29 11.2%	12 4.7%	4	3.29
	中学2年	191 100.0%	77 40.3%	76 39.8%	33 17.3%	5 2.6%	1	3.18
	中学3年	817 100.0%	366 44.8%	309 37.8%	110 13.5%	32 3.9%	8	3.24
	高校1年	551 100.0%	228 41.4%	240 43.6%	71 12.9%	12 2.2%	1	3.24
	高校2年	142 100.0%	59 41.5%	68 47.9%	12 8.5%	3 2.1%	2	3.29
学校種別	(参考) 小学生	1024 100.0%	626 61.1%	275 26.9%	86 8.4%	37 3.6%	3	3.46
	(参考) 中学生	1266 100.0%	572 45.2%	473 37.4%	172 13.6%	49 3.9%	13	3.24
	(参考) 高校生	693 100.0%	287 41.4%	308 44.4%	83 12.0%	15 2.2%	3	3.25

3) 今の自分を気に入っている

「今の自分を気に入っている」との問いでは、全体では 34.7%（前年比+2.0%）が「ややあてはまる」と答え、最も高い割合を示した。全体のスコアが 2.53 と前年（2.49）より上昇したものの他の設問と比べて低い。

「あてはまる（とても+やや）」に着目し、その割合を性別でみると、男性は 54.5%（前年比+0.4%）であり、半数を超えているものの、女性は 46.7%（前年比-3.4%）で、半数を下回った。学年別では、小学3年で70.7%と最も高く、前年と同じく高校2年の32.4%が最も低い。スコア化したところ、小学3年が2.90と最も高く、高校2年で2.29と最も低い。

表 18 今の自分を気に入っている

		合計	q3-03今の自分を気に入っている					(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	
全体		2976 100.0%	486 16.3%	1032 34.7%	1027 34.5%	431 14.5%	26	2.53
性別	男性	1607 100.0%	307 19.1%	569 35.4%	509 31.7%	222 13.8%	9	2.60
	女性	1363 100.0%	179 13.1%	458 33.6%	518 38.0%	208 15.3%	4	2.45
学年	小学3年	147 100.0%	49 33.3%	55 37.4%	22 15.0%	21 14.3%	3	2.90
	小学4年	195 100.0%	57 29.2%	78 40.0%	38 19.5%	22 11.3%	0	2.87
	小学5年	680 100.0%	130 19.1%	268 39.4%	191 28.1%	91 13.4%	2	2.64
	中学1年	254 100.0%	37 14.6%	89 35.0%	89 35.0%	39 15.4%	8	2.49
	中学2年	191 100.0%	23 12.0%	66 34.6%	70 36.6%	32 16.8%	1	2.42
	中学3年	816 100.0%	109 13.4%	248 30.4%	323 39.6%	136 16.7%	9	2.40
	高校1年	551 100.0%	67 12.2%	196 35.6%	217 39.4%	71 12.9%	1	2.47
	高校2年	142 100.0%	14 9.9%	32 22.5%	77 54.2%	19 13.4%	2	2.29
学校種別	(参考) 小学生	1022 100.0%	236 23.1%	401 39.2%	251 24.6%	134 13.1%	5	2.72
	(参考) 中学生	1261 100.0%	169 13.4%	403 32.0%	482 38.2%	207 16.4%	18	2.42
	(参考) 高校生	693 100.0%	81 11.7%	228 32.9%	294 42.4%	90 13.0%	3	2.43

4) 私はやればできる人間だと思う

「私はやればできる人間だと思う」との問いでは、全体では 39.4%（前年比+1.3%）が「ややあてはまる」と答え、33.3%（前年比-3.2%）が「とてもあてはまる」と答えた。

「あてはまる（とても+やや）」に着目し、その割合を性別で見ると、男性は 73.3%（前年比-2.5%）であり、女性の 72.1%（前年比-1.4%）を上回った。

学年別では、小学4年で87.2%と最も高く、中学2年の60.2%が最も低い。

スコア化したところ、小学4年が3.41で最も高く、中学2年で2.72と最も低い。

表 19 私はやればできる人間だと思う

		合計	q3-04私はやればできる人間だと思う				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2974 100.0%	991 33.3%	1173 39.4%	635 21.4%	175 5.9%	28	3.00
性別	男性	1607 100.0%	570 35.5%	608 37.8%	324 20.2%	105 6.5%	9	3.02
	女性	1361 100.0%	419 30.8%	562 41.3%	312 22.9%	68 5.0%	6	2.98
学年	小学3年	146 100.0%	77 52.7%	43 29.5%	16 11.0%	10 6.8%	4	3.28
	小学4年	195 100.0%	114 58.5%	56 28.7%	16 8.2%	9 4.6%	0	3.41
	小学5年	678 100.0%	292 43.1%	232 34.2%	124 18.3%	30 4.4%	4	3.16
	中学1年	256 100.0%	74 28.9%	102 39.8%	64 25.0%	16 6.3%	6	2.91
	中学2年	191 100.0%	42 22.0%	73 38.2%	56 29.3%	20 10.5%	1	2.72
	中学3年	814 100.0%	234 28.7%	314 38.6%	208 25.6%	58 7.1%	11	2.89
	高校1年	552 100.0%	134 24.3%	283 51.3%	110 19.9%	25 4.5%	0	2.95
	高校2年	142 100.0%	24 16.9%	70 49.3%	41 28.9%	7 4.9%	2	2.78
学校種別	(参考) 小学生	1019 100.0%	483 47.4%	331 32.5%	156 15.3%	49 4.8%	8	3.22
	(参考) 中学生	1261 100.0%	350 27.8%	489 38.8%	328 26.0%	94 7.5%	18	2.87
	(参考) 高校生	694 100.0%	158 22.8%	353 50.9%	151 21.8%	32 4.6%	2	2.92

5) 難しいことにもくじけず頑張れる

「むずかしいことにもくじけずがんばれる」との問いでは、全体では 45.9%（前年比+2.4%）が「ややあてはまる」と答え、24.4%（前年比-4.3%）が「とてもあてはまる」と答えた。

「あてはまる（とても+やや）」の割合を性別でみると、男性は 73.2%（前年比-2.4%）であり、女性の 71.2%（前年比-1.9%）を上回った。

学年別では、小学 4 年で 82.1% と最も高く、小学生はおおむね肯定的な回答が多かった。一方、最も低かったのは、高校 2 年の 53.6% であった。

スコア化したところ、小学 4 年が 3.21 で最も高く、高校 2 年が 2.55 と最も低かった。

表 20 難しいことにもくじけず頑張れる

		合計	q3-05むずかしいことにもくじけずがんばれる					(平均 スコア)
			とてもあて はまる	ややあては まる	あまりあて はまらない	まったくあて はまらない	無回答	
全体		2979 100.0%	726 24.4%	1366 45.9%	709 23.8%	178 6.0%	23	2.89
性別	男性	1609 100.0%	414 25.7%	728 45.2%	368 22.9%	99 6.2%	7	2.91
	女性	1364 100.0%	312 22.9%	633 46.4%	341 25.0%	78 5.7%	3	2.86
学年	小学3年	149 100.0%	53 35.6%	63 42.3%	23 15.4%	10 6.7%	1	3.07
	小学4年	195 100.0%	82 42.1%	78 40.0%	29 14.9%	6 3.1%	0	3.21
	小学5年	680 100.0%	233 34.3%	313 46.0%	106 15.6%	28 4.1%	2	3.10
	中学1年	257 100.0%	58 22.6%	124 48.2%	57 22.2%	18 7.0%	5	2.86
	中学2年	191 100.0%	28 14.7%	80 41.9%	60 31.4%	23 12.0%	1	2.59
	中学3年	814 100.0%	164 20.1%	361 44.3%	235 28.9%	54 6.6%	11	2.78
	高校1年	551 100.0%	96 17.4%	283 51.4%	143 26.0%	29 5.3%	1	2.81
	高校2年	142 100.0%	12 8.5%	64 45.1%	56 39.4%	10 7.0%	2	2.55
学校 種別	(参考) 小学生	1024 100.0%	368 35.9%	454 44.3%	158 15.4%	44 4.3%	3	3.12
	(参考) 中学生	1262 100.0%	250 19.8%	565 44.8%	352 27.9%	95 7.5%	17	2.77
	(参考) 高校生	693 100.0%	108 15.6%	347 50.1%	199 28.7%	39 5.6%	3	2.76

6) 何でも話せる友だちがいる

「なんでも話せる友だちがいる」との問いでは、全体では 56.5% (前年比-1.8%) が「とてもあてはまる」と答え、27.4%が「ややあてはまる」と答えた (前年比+0.3%)。

「あてはまる (とても+やや)」の割合を性別で見ると、女性は 84.7% (前年比-1.6%) であり、男性の 83.2% (前年比-1.5%) を上回った。

学年別では、中学 1 年ならびに高校 2 年で 85.2%と最も高く、いずれの学年も 78~85%の割合を示した。その中でも最も低かったのは、中学 2 年の 78.4%であった。

スコア化したところ、小学 3 年が 3.46 で最も高く、高校 2 年で 3.27 と最も低い。

表 21 何でも話せる友だちがいる

		合計	q3-06なんでも話せる友だちがいる					(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	
全体		2979 100.0%	1682 56.5%	816 27.4%	339 11.4%	142 4.8%	23	3.36
性別	男性	1609 100.0%	883 54.9%	455 28.3%	186 11.6%	85 5.3%	7	3.33
	女性	1364 100.0%	800 58.7%	355 26.0%	152 11.1%	57 4.2%	3	3.39
学年	小学3年	148 100.0%	102 68.9%	21 14.2%	16 10.8%	9 6.1%	2	3.46
	小学4年	195 100.0%	120 61.5%	40 20.5%	20 10.3%	15 7.7%	0	3.36
	小学5年	680 100.0%	422 62.1%	156 22.9%	75 11.0%	27 4.0%	2	3.43
	中学1年	257 100.0%	154 59.9%	65 25.3%	27 10.5%	11 4.3%	5	3.41
	中学2年	190 100.0%	94 49.5%	55 28.9%	28 14.7%	13 6.8%	2	3.21
	中学3年	815 100.0%	448 55.0%	246 30.2%	81 9.9%	40 4.9%	10	3.35
	高校1年	552 100.0%	277 50.2%	177 32.1%	77 13.9%	21 3.8%	0	3.29
	高校2年	142 100.0%	65 45.8%	56 39.4%	15 10.6%	6 4.2%	2	3.27
学校種別	(参考) 小学生	1023 100.0%	644 63.0%	217 21.2%	111 10.9%	51 5.0%	4	3.42
	(参考) 中学生	1262 100.0%	696 55.2%	366 29.0%	136 10.8%	64 5.1%	17	3.34
	(参考) 高校生	694 100.0%	342 49.3%	233 33.6%	92 13.3%	27 3.9%	2	3.28

7) ありのままの自分が好き

「ありのままの自分が好きだ」との問いでは、全体では 35.8%（前年比+1.3%）が「ややあてはまる」と答え、28.7%（前年比+0.6%）が「あまりあてはまらない」と答えた。「とてもあてはまる」は 22.9%（前年比-1.3%）にとどまった。

「あてはまる（とても+やや）」の割合を性別で見ると、男性は 61.1%（前年比-0.5%）であり、女性の 55.8%（前年比-0.1%）を上回った。

学年別では、小学4年で 75.3%と最も高く、他の学年より抜きん出て高い割合であった。最も低かったのは、高校2年の 46.1%であったが、中学2年も 49.3%で半数を下回っている。

スコア化したところ、小学4年が 3.02 で最も高く、学年別で唯一 3 点を超えている。中学2年が最も低く 2.50 であった。

表 22 ありのままの自分が好きだ

		合計	q3-07ありのままの自分が好きだ					(平均 スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない	無回答	
全体		2967 100.0%	678 22.9%	1063 35.8%	851 28.7%	375 12.6%	35	2.69
性別	男性	1604 100.0%	391 24.4%	588 36.7%	424 26.4%	201 12.5%	12	2.73
	女性	1357 100.0%	288 21.2%	470 34.6%	426 31.4%	173 12.7%	10	2.64
学年	小学3年	145 100.0%	40 27.6%	54 37.2%	34 23.4%	17 11.7%	5	2.81
	小学4年	194 100.0%	69 35.6%	77 39.7%	31 16.0%	17 8.8%	1	3.02
	小学5年	676 100.0%	138 20.4%	272 40.2%	164 24.3%	102 15.1%	6	2.66
	中学1年	255 100.0%	63 24.7%	86 33.7%	75 29.4%	31 12.2%	7	2.71
	中学2年	190 100.0%	34 17.9%	60 31.6%	63 33.2%	33 17.4%	2	2.50
	中学3年	815 100.0%	185 22.7%	279 34.2%	243 29.8%	108 13.3%	10	2.66
	高校1年	551 100.0%	125 22.7%	194 35.2%	174 31.6%	58 10.5%	1	2.70
	高校2年	141 100.0%	24 17.0%	41 29.1%	67 47.5%	9 6.4%	3	2.57
学校種別	(参考) 小学生	1015 100.0%	247 24.3%	403 39.7%	229 22.6%	136 13.4%	12	2.75
	(参考) 中学生	1260 100.0%	282 22.4%	425 33.7%	381 30.2%	172 13.7%	19	2.65
	(参考) 高校生	692 100.0%	149 21.5%	235 34.0%	241 34.8%	67 9.7%	4	2.67

8) 自慢できることがある

最後に「他の人に自慢できることがある」かについてたずねた。全体では31.3% (前年比-0.8%) が「とてもあてはまる」と答え、31.5% (前年比+1.2%) が「ややあてはまる」と答えた。

「あてはまる (とても+やや)」の割合を性別で見ると、男性は65.1% (前年比+1.1%) であり、女性の61.9% (前年比+2.6%) を上回った。

学年別では、小学4年で74.4%と最も高く、最も低かったのは、高校2年の52.8%であった。スコア化したところ、小学4年が3.13で最も高く、高校2年で2.64と最も低い。

表23 他の人に自慢できることがある

		合計	q3-08他の人に自慢できることがある				無回答	(平均スコア)
			とてもあてはまる	ややあてはまる	あまりあてはまらない	まったくあてはまらない		
全体		2981 100.0%	958 32.1%	938 31.5%	697 23.4%	388 13.0%	21	2.83
性別	男性	1611 100.0%	530 32.9%	519 32.2%	344 21.4%	218 13.5%	5	2.84
	女性	1364 100.0%	429 31.5%	415 30.4%	352 25.8%	168 12.3%	3	2.81
学年	小学3年	147 100.0%	60 40.8%	33 22.4%	27 18.4%	27 18.4%	3	2.86
	小学4年	195 100.0%	100 51.3%	45 23.1%	26 13.3%	24 12.3%	0	3.13
	小学5年	682 100.0%	280 41.1%	196 28.7%	122 17.9%	84 12.3%	0	2.99
	中学1年	258 100.0%	85 32.9%	92 35.7%	53 20.5%	28 10.9%	4	2.91
	中学2年	189 100.0%	55 29.1%	54 28.6%	50 26.5%	30 15.9%	3	2.71
	中学3年	817 100.0%	233 28.5%	241 29.5%	221 27.1%	122 14.9%	8	2.72
	高校1年	551 100.0%	116 21.1%	231 41.9%	144 26.1%	60 10.9%	1	2.73
	高校2年	142 100.0%	29 20.4%	46 32.4%	54 38.0%	13 9.2%	2	2.64
学校種別	(参考) 小学生	1024 100.0%	440 43.0%	274 26.8%	175 17.1%	135 13.2%	3	3.00
	(参考) 中学生	1264 100.0%	373 29.5%	387 30.6%	324 25.6%	180 14.2%	15	2.75
	(参考) 高校生	693 100.0%	145 20.9%	277 40.0%	198 28.6%	73 10.5%	3	2.71

3. まとめ

本調査は、私の未来プロジェクト事業の効果を経年的に測定する目的で実施されたものである。今年度は調査第2年度となり、前年調査と同じ質問紙を用いたうえで、前年調査との比較も意識しながら、小学校・中学校、さらには高校に在学している児童生徒の調査協力を得た。同年齢(学年)であっても、回答者(学校)が全く異なっていることから、前年と今年では傾向が異なるものもみられ、一般化を行うためには、さらにデータを取り続ける必要性がある。

文化資本の設問の中で、特に家庭生活をたずねた部分については、「自分一人の勉強部屋を持っている」「家の人に勉強を見てもらったことがある」など高い割合を示したものもあれば、その一方で、「家の人は私にほとんど毎日「勉強しなさい」と言う」「家の人は、毎日、ほとんど決まった時間に起きる」については、学年によって回答にばらつきが見られた。

前回同様、文化資本をたずねた質問は8つある(pp. 2-9 参照)。本報告は各設問の集計の結果を示したが、本市の所得状況を考慮したとき、各世帯の文化資本に相当のばらつきがあることが推測される。

自己肯定感の設問では、質的な選択肢を1～4点で数量化した結果、全体的に高い水準の設問と、学年によってややばらつきがみられる設問がみられたが、自己肯定感の総体としては小学4年をピークに学年進行とともに低下しているといえる。そして、今回の調査対象者は、前年調査よりやや低い結果となっている。

先行研究からは、年齢の上昇とともに自己肯定感は低下することが指摘されており、本市における今年度の調査においても、そのことはおおむね支持された。

「今の自分を気に入っている」(p. 18)、「ありのままの自分が好き」(p. 22)、「自慢できることがある」(p. 23)が他の設問と比較して低い値を示した。特に「今の自分を気に入っている」については、前年の全体平均2.49を0.04上回り、論理的中央値2.5をわずかに超えているが、年齢の上昇とともに自己イメージの低下傾向にあることが改めて確認された。その一方で、「なんでも話せる友だちがいる」(p. 21)については、高い値が得られているものの、回答者の5%程度が「まったくあてはまらない」と回答している。これらの児童・生徒は安心した学校生活・日常生活を送れているだろうか。懸念される調査結果である。

また、自己肯定感の設問7「ありのままの自分が好きだ」(p. 22)では小学3年・小学6年で20%程度が「まったくあてはまらない」と回答しており、二極化していることも気になる。

近年、核家族化、少子化・高齢化などの社会変動にともない、子どもを取り巻く環境の中で、人間関係の希薄化がさまざまな課題を生んでいる。特に、いのちを尊重する態度の乏しさ、基本的な生活習慣の未確立、規範意識や人間関係を形成する力の低下などが指摘されている。

また、子どもは、小学校中学年ごろまでの「比較的穏やかな児童期を過ぎて、自分の特性について考え始め、自分はいかにあるべきか、将来どんな仕事をしていきたいか、自分はどんな仕事に向いているのか、など悩みが生まれる」のである(栗谷・本間2009)。

前年においても指摘したのだが、私たちは、よく自尊感情が低いことを問題視している。しかし自尊感情は高ければ高いほど良いというものではなく、自尊感情があまりに高すぎると、集団生活

を送る中で人間関係に支障をきたしたり、向上心を欠いたりというようなマイナスの影響が現れる可能性が考えられる。

私の未来プロジェクト事業は、次年度で実質的に5年目を迎える。小学校で体験を行った子どもたちはおおむね中学生になっている時期である。調査3年目にあたる次年度からは前年調査との比較に加えてコーホートの的にみることができることから、本事業の効果に関する分析も進めていきたい。

(引用文献)

栗谷初子・本間友巳(2009)「思春期の自己肯定感のあり方に影響を及ぼす要因について—学校生活適応感、生活習慣との関係を中心に—」『京都教育大学教育実践研究紀要』第10号, p. 193